

磐田市・森町の病院・訪問看護ステーションの看護代表者がつながる会

(通称:つながる会)に参加しました。

4月13日(土)に今年度第1回のつながる会が、すすかけヘルスケアホスピタルで開催されました。

つながる会は例年、この時期から力強くスタートをきります。

今年もお誘いいただきました。

ありがとうございます。



国際医療福祉大学大学院 副大学院長 教授の福井トシ子先生による講演会、テーマは「地域住民や行政とともにつくるこれからの医療・看護を考えるー地域共生社会の実現に向けてー」です。



その後、磐田市と森町から事例報告がありました。

タイトルは、磐田市から「本人の思いを支える“せいかつ応援倶楽部”って?!」、森町から「地域で生きるを支える」でした。

当事者の思いや考えを尊重した取り組みや本人主体の「自立支援」を原則に介護保険制度ではできない「はざま」の支援の仕組みを知ることができました。



福井先生の講義と、ふたつの自治体からの事例報告がピッ

タリ一つになって、線から面に、そして「地域共生社会＝

支え、支えられる関係の循環」の実践を聴かせていただきました。

最後には、公務の合間をぬって駆け付けてくれた草地磐田市長からも熱いエールが飛んでいました。

大変な時代だからこそその大切な連携！

福祉のことも含めて学び多い時間でした。

ありがとうございました。

